

平成26年3月期
第2四半期決算説明資料

平成25年11月12日

 **川重冷熱工業株式会社**



平成26年3月期第2四半期決算概要

川重冷熱工業株式会社

平成26年3月期第2四半期損益計算書



	前第2四半期	当第2四半期	前年同期比	備 考
売上高	7,644	7,706	100.8%	主にボイラ機器の売上増加による
売上総利益	1,924	1,902	98.8%	
販売費及び一般管理費	1,930	1,946	100.8%	諸費用の増加による
営業損益	6	44	693.5%	
営業外収益	28	48	169.7%	主に為替差益の増加による
営業外費用	37	4	11.3%	
経常損益	14	0	-	
税引前四半期純損益	14	0	-	
法人税等	1	10	-	
四半期純損失	13	9	69.4%	

平成26年3月期第2四半期貸借対照表



資産の部	前第4四半期	当第2四半期	備 考
流動資産	8,405	8,122	
現金及び預金	53	18	
受取手形・売掛金	6,328	5,431	
棚卸資産	1,475	1,925	
繰延税金資産	318	318	
その他の流動資産	229	429	短期貸付金の増加による
固定資産	4,199	4,280	
有形固定資産	1,878	1,975	
無形固定資産	310	274	
繰延税金資産	850	928	退職給付債務会計基準の変更による
投資その他の資産	1,159	1,102	
資産合計	12,604	12,403	

平成26年3月期第2四半期貸借対照表



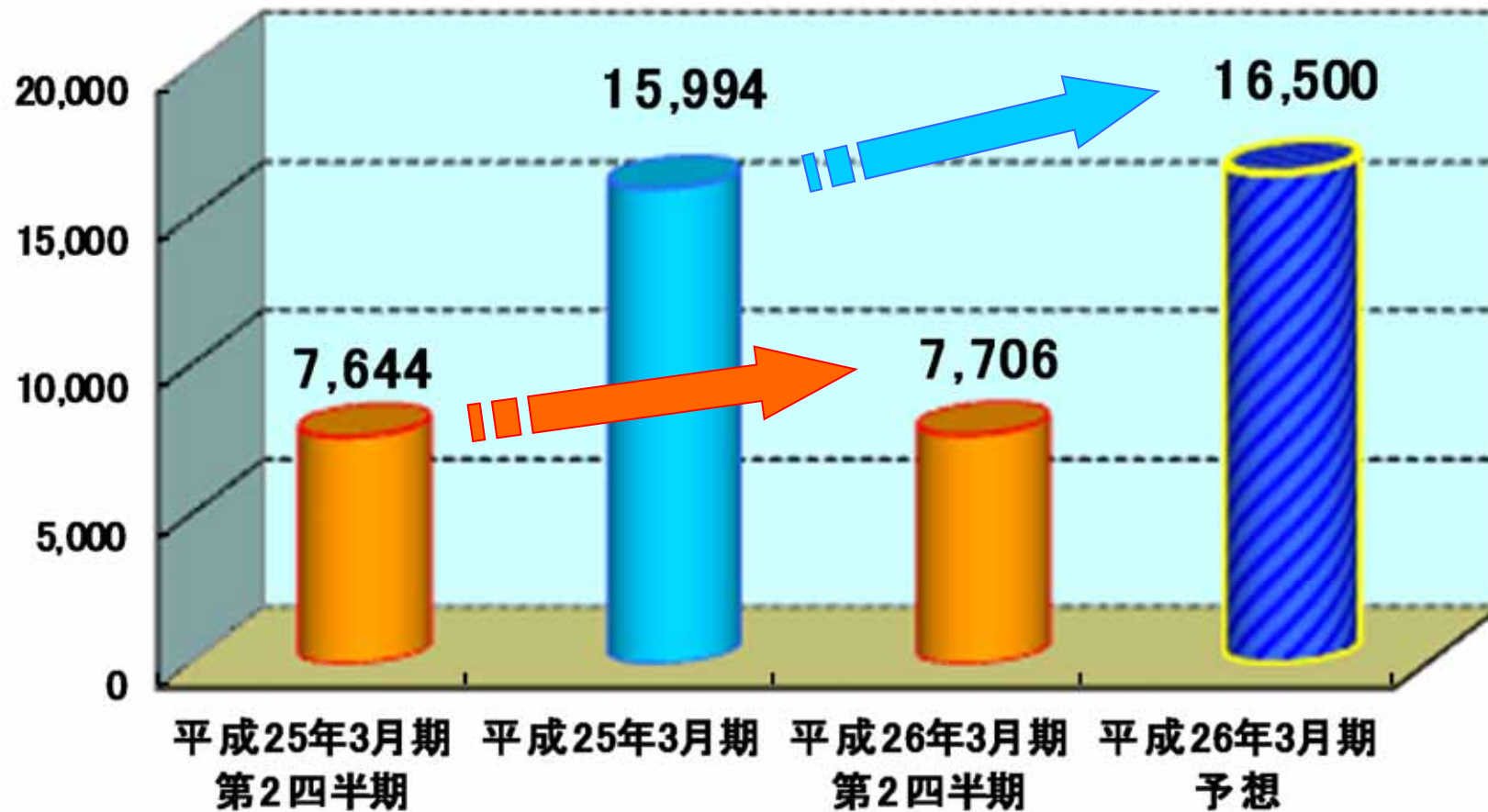
負債・純資産の部

金額単位：百万円(百万円未満切捨て)

	前第4四半期	当第2四半期	備 考
流動負債	6,231	6,086	
支払手形・買掛金	4,032	3,668	
未払法人税等	51	25	
その他の流動負債	2,147	2,393	短期借入金の増加による
固定負債	2,363	2,511	
退職給付引当金	2,225	2,389	退職給付債務会計基準の変更による
その他の固定負債	138	121	
負債合計	8,595	8,597	
資本金	1,460	1,460	
資本剰余金	1,228	1,228	
利益剰余金	1,329	1,122	
自己株式	18	19	
株式等評価差額	9	13	
純資産合計	4,009	3,805	
負債・純資産合計	12,604	12,403	

川重冷熱工業株式会社

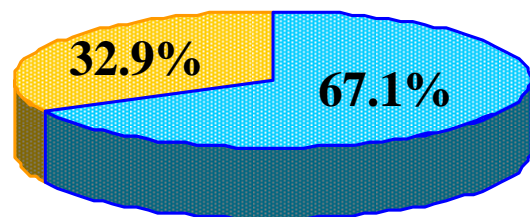
売上高の推移



売上高構成比の比較

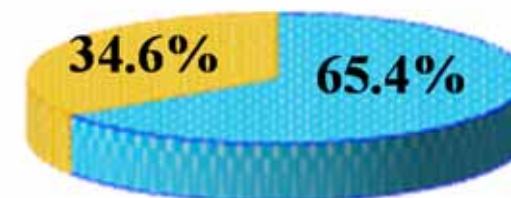


ボイラ事業



空調事業

ボイラ事業



空調事業

平成25年3月期
第2四半期決算

平成26年3月期
第2四半期決算

事業区分別分析



空調事業

機器本体の売上高は、大型吸収冷温水機の減少により、前年同期を下回りました。

改修改造工事・メンテナンスの売上高は、オーバーホールなど改修改造工事が増加したため、前年同期を上回りました。

ボイラ事業

機器本体の売上高は、大型の水管ボイラおよび排熱ボイラが増加したことにより前年同期を上回りました。

改修改造工事・メンテナンスの売上高は、大口の定検工事が増加したため、前年同期を上回りました。



平成26年3月期 業績予想

川重冷熱工業株式会社

平成26年3月期の業績予想

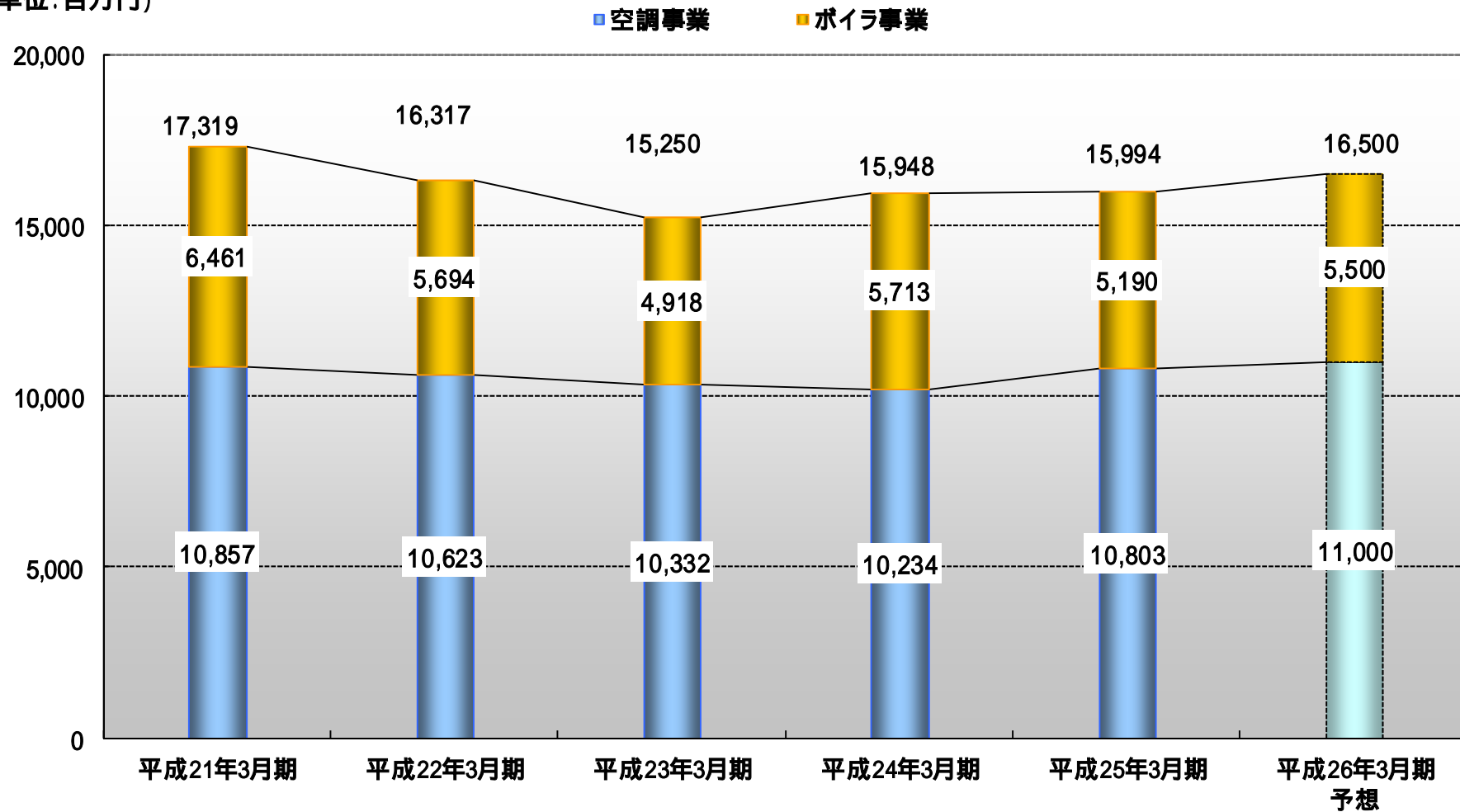


	平成25年3月	今期予想	前年同期比	備 考
売上高	15,994	16,500	103.2%	
空調事業	10,803	11,000	101.8%	
ボイラ事業	5,190	5,500	106.0%	
営業利益	158	360	227.8%	
経常利益	188	350	186.0%	
当期純利益	112	200	177.3%	

売上の推移(予想)



(単位:百万円)

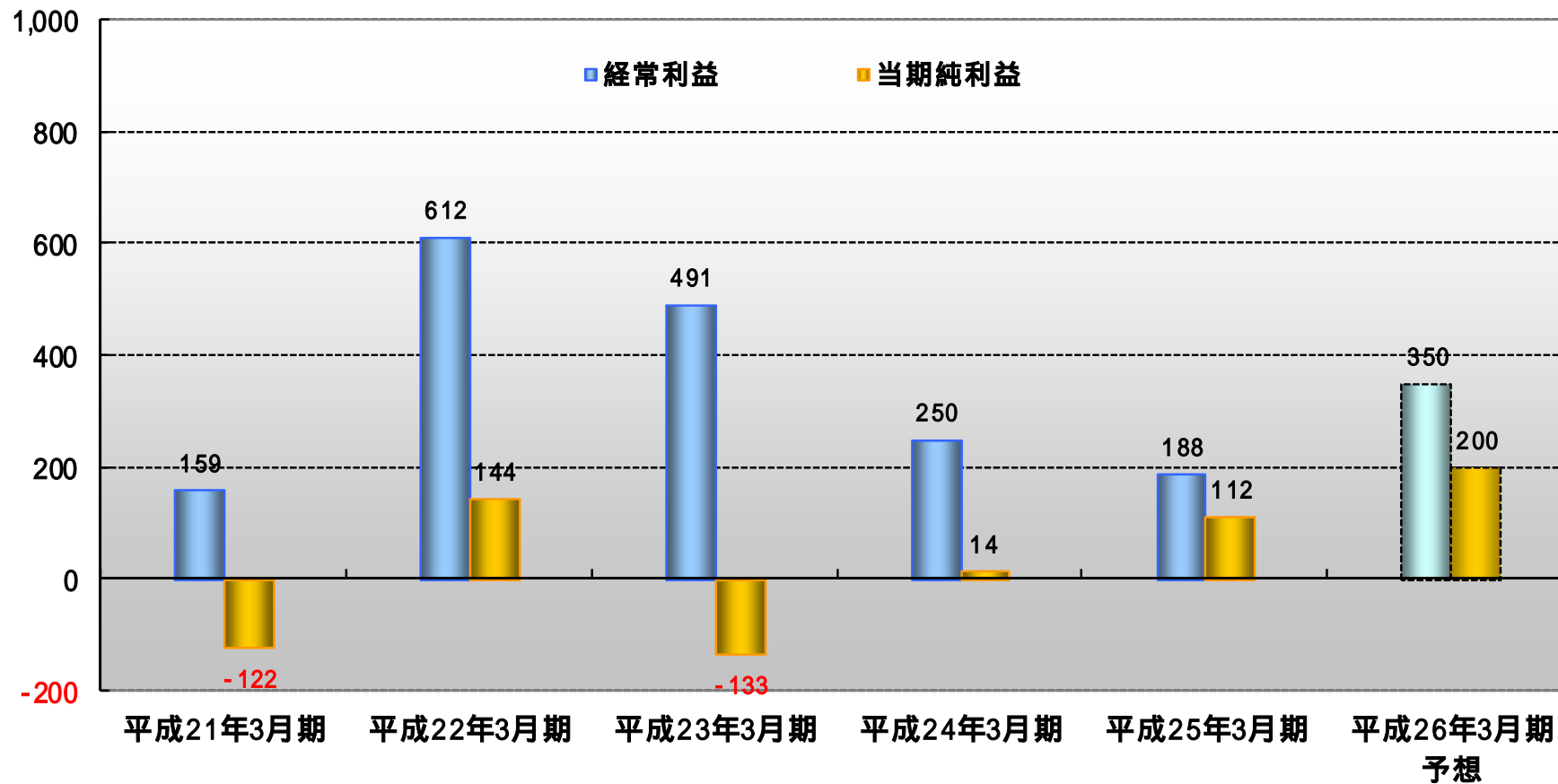


川重冷熱工業株式会社

利益の推移(予想)



(単位:百万円)



川重冷熱工業株式会社

事業区分別計画



空調事業

2013年4月より販売を開始しました二重効用吸収冷温水機として最高の定格効率を達成するとともに、期間効率(年間を通じた省エネルギー性)・システム効率(空調システム全体での省エネルギー性)を向上した新型吸収冷温水機「エフィシオ」や、世界で初めて商品化に成功した「三重効用高効率ガス吸収冷温水機」、ガス3社と共同開発した太陽熱利用の「ソーラー吸収冷温水機」等の提案を行い、拡販に努めます。

24時間遠隔監視システム「テレメンテ」の活用、および「イーコップセイバー」等の省エネルギー提案を積極的に行い、引き続き改修改造工事・メンテナンスの受注拡大に努めます。

ボイラ事業

大型貫流ボイラ「イフリート」を中心とした機器ラインナップに加え、「油焼き燃焼ターンダウン5:1制御システム」、大型貫流ボイラで初めて開発に成功した「VOC燃焼システム」や「排ガスO₂濃度制御システム」等の、お客様の省エネニーズに対応する製品を提供し、拡販に努めます。

改修改造工事・メンテナンスは、定期検査、燃料転換や省エネ改造などの改修工事を中心とした工事の受注拡大ならびに年間保守契約の獲得向上に努めます。

本資料に関する問合せ

「快適」をあなたの^{いま}現在と未来へ



川重冷熱工業株式会社

企画室 経営管理部

TEL 077-563-1111

ご注意

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で把握可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことはお控え下さるようお願いいたします。